

特別企画



新理事就任の挨拶

Greetings from New Board Member of JEMEA

凌和電子株式会社 研究開発本部 板垣 篤
RYOWA ELECTRONICS CO.,LTD., Atsushi Itagaki
〒984-0805 宮城県仙台市若林区南材木町 48
e-mail: itagaki@ryowa-electronics.co.jp

この度、日本電磁波エネルギー応用学会の理事に就任いたしました凌和電子株式会社 研究開発本部の板垣 篤と申します。当学会と関わり合うまでの経緯としまして、凌和電子(株)の事業内容から先に記載させていただきます。1972年に現会長が、東北大学工学部の研究室の実験機材設計製作から始まり、以降近隣各社の生産設備設計から製作納入までを実施して参りました。設備は電気だけにかかわらず、機械、画像、制御へ広げて行きました。

いま考えればマイクロ波応用部品に関連する金属加工などの機械製作工程を持ち合わせていたという事になります。現在、各社の生産設備の拠点は全国から世界に広がり、弊社もまたユーザーと足並みを揃えた事業を展開しております。

一方、当研究開発部門は、東北電気通信研究所と共同で1980年頃から高周波磁気計測装置を開発してきました。1990年代には磁気記録のさらなる高速化(高周波化)が望まれ透磁率測定に開発目標を絞り2008年1MHz~10GHzの広帯域高周波透磁率装置をリリースしました。最近では電波吸収体の特性評価などに利用されており、その測定方法はIECよりテクニカルレポート(TR63307)が発行されています。そして、更に数10GHzへの開発は継続中です。ここまでがベースであり、これから電磁波エネルギー関係への関わりが始まります。2015年頃、宮城県での異業種交流で産総研西岡様とお会いしました。産総研東北センターは化学系の開発が盛んであり凌和電子の電子機器製造とはすれ違いで来ていましたが、2.4GHzのマイクロ波加熱を紹介された時には機材もあるし周波数も範疇であることから意気投合、マイクロ波加熱装置の製品づくりに入っていました。その後、西岡様にミネラルライトラボ松村様、東京工業大学(当時)椿様、その他大勢の方々を紹介いただき、JEMEAでの発表でもご協力いただきました。今回、新理事に就任いたしました。当の私は化学系が不得手であります。しかし、計測、制御、製作面など出来る範囲でJEMEAの発展に力を尽くしてまいりたいと思いますのでご指導、ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。